

2026年3月5日

各位

会社名 株式会社デジタルプラス  
住所 東京都渋谷区元代々木町30番13号  
代表者名 代表取締役社長 菊池誠晃  
(コード番号：3691 東証グロース市場)  
問い合わせ先 取締役 CFO 加藤涼  
TEL. 03-5465-0690

## 2026年9月期第1四半期決算を終えてのTOPメッセージ動画公開のお知らせ

当社は、2026年9月期第1四半期決算発表時に募集した投資家の皆様からの質問を踏まえた当社代表のメッセージ動画を、下記のとおり公開いたしましたのでお知らせします。

### 1. 概要

動画 URL : <https://youtu.be/kZPN1QKhzrQ>

本動画では、投資家の皆様からの質問を踏まえたTOPメッセージを当社代表取締役の菊池誠晃よりお伝えしておりますので、ぜひご覧ください。

また今後は、頻出するご質問についてIRサイト上で随時ご確認いただける体制を整備し、株主・投資家の皆様とのコミュニケーション強化を図ってまいります。

### 2. 当社代表メッセージ

#### ① 第1四半期の進捗および今期目標

当社は第1四半期において、流通総額23四半期連続成長を達成いたしました。今期は通期流通総額250億円（前期比約2倍）を目標として掲げており、現時点で好調な進捗となっております。

また、年間流通総額1,000億円達成に向けた中間KPIとして、月間流通総額35億円の早期達成を最重要課題としております。月間流通35億円は年間換算420億円となり、想定粗利率5%を適用した場合、約21億円の粗利創出が見込まれます。当社販管費は概ね10億円規模であることから、営業利益10億円の実現が可能な収益構造となります。

#### ② 月間35億円達成に向けた取り組み(資金移動サービス)

月間流通総額35億円実現の鍵となるのが、資金移動サービスの拡大です。  
現在進行中の主な案件は以下の通りです。

- ・ホテル・レストラン向けの人材派遣を行うデリ・アートHR社における支払いへの導入
- ・日本航空株式会社との提携（フライト欠航時のお詫び金等への活用）
- ・ギグワーカー向け報酬支払い案件

これら案件の実装を通じて流通総額を着実に積み上げ、さらなる案件獲得を進めてまいります。

### ③ AI 時代における当社の戦略

今、「SaaS の死」といった議論がなされておりますが、当社は以下のように認識しております。

- ・AI は判断を高度化するツールである
- ・一方で、**実行機能は依然として発展途上の領域**である

当社は、3 万円以下の少額送金領域に特化した送金インフラを構築しており、AI 時代においても重要な「実行機能」を担う存在となることを目指しております。AI が判断を担い、当社の送金インフラが実行を担うことで、「AI × 送金」という新たな送金インフラを構築してまいります。

また、報酬が縮小していく領域ではなく、今後拡大する新たな報酬市場へと戦略的に軸足を移し、成長余地の大きい領域に経営資源を集中してまいります。

### ④ 人的資本経営

現在、四半期流通総額約 50 億円を正社員約 30 名で実現しております。月間流通総額 35 億円は 30～50 名体制で実現可能と想定しており、現在積極採用を進めております。また、将来的に流通総額が 1,000 億円規模に到達した際には、社員約 100 名体制で、1 人あたり流通総額 10 億円という高生産性モデルの実現を目指します。

### ⑤ 株主還元方針および資金調達方針

当社は現在、成長投資フェーズにあると認識しております。

- ・株主還元は株主優待を主軸とする
- ・現時点で大規模なエクイティによる希薄化は想定していない

また、株主優待を主軸とし、今後も企業価値向上を通じた株主還元を重視してまいります。

### ⑥ 終わりに

当社は約 6 年前のピボット以降、事業基盤の再構築に取り組みながら成長を続けてまいりました。そして今期、ようやく利益成長フェーズへと移行する段階に到達しております。今後もこの状況に慢心することなく、流通総額のさらなる拡大と利益成長の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、中期目標である流通総額 1,000 億円の実現に向けた当社の取り組みに、引き続きご期待いただくとともに、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 3. 本開示に関するお問い合わせ先

株式会社デジタルプラス IR 担当

メールアドレス：[ir@digital-plus.co.jp](mailto:ir@digital-plus.co.jp)

以上